

「御霊の実は、愛」ガラテヤ5：22，23

I 私達は、自分の力で、神を、そして人を愛する事は出来ない。相性の良い人や良くして下さる人を愛する事は、それほど難しくはない。しかし、自分と合わない人、難しい事をする人を愛する事は、とても難しい。

II そんな私達に良い知らせがある。愛のない私達にも希望がある。御言葉は、こう語りかけて下さる。「愛は神から出ているのです」Iヨハネ4：7。愛は、私達が、自分で生み出せるものではない。愛は、愛にあふれておられる神から出ている。その愛を私達に与えて下さる。以前も今も。

「患難さえも喜んでます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです」ローマ5：3-5。

「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです」Iヨハネ4：9，10。感謝します。

III 神から来る本当の愛とは？

1. 好きになる事と愛する事は違う。「好き」とは、感情であり、相性である。好きという感情が、冷めても、神は、真実に愛するという事を可能にして下さる。人生の一つ一つにおいて、感情の高まりだけで、大切な決断をしてはならない。すべての事について、冷静な判断ができるように、神に祈りたい。
2. 神の下さる愛とは、感情のままに接するのではなく、神が下さる「意志」を持って関係を作っていくものである。自分にとって難しい人を愛する事は、私たちの感情では、決して出来ないものである。しかし、神は私達の弱さを十分理解しておられるうえで「愛しなさい」と命じられる。神は、御聖霊により、隣人、そして互いに愛し合う意志と力、思い、愛、「この方も十分な愛を受けて来なかった」と言う思いやり、深い理解を与えて下さる。私達の内に住まわれる御霊なる神が生み出して下さる愛という実。

IV ある人を愛せない、赦せない時、なすべき事、人を愛するための大きな助け

1. 神の前に静まり、ある人を愛せない、赦せない事を正直に神に打ち明け、心を注ぎ出そう。「私は、ある人を愛せません、赦せません。こんな私を憐れんで下さい」と。神は、愛をもって弱い私達を受け止めて下さる。「あなたがたの心を神の御前に注ぎ出せ」詩篇62：8。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい」マタイ11：28。
2. 愛せないある人の事は、神に委ね、まず、神の前に静まり、今日まで、自分自身に対して、どんなに愛をもって忍耐して赦し続けて下さったかを深く思い起こす時を持ちたい。その神の御前で静かに静まる時、神の御臨在と暖かい愛に触れる。もし、今日まで神の愛、恵み、憐みがなければ、自分自身は、とっくに滅ぼされて当然の罪人のかしらであることに気づかせられる。

次の御言葉を静かに思い巡らそう。「私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ」哀歌3：22。神に救われ、神に愛され、聖められ続けたパウロは、年を重ねるごとに神の恵みの深さと自分自身の罪深さへの自覚が深められた。「私たちの主の、この恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに、ますます満ちあふれるようになりました。『キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた』ということばは、まことであり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです」Iテモテ1：14，15

3. 神の前に静まり、私の罪の為に十字架で苦しめられたイエス様の姿を思い浮かべ信仰の目で静かに見つめたい。神の愛、イエス様の愛を感じさせられる。聖霊なる神は、私達の心が、イエス様のことをもっと深く知るように助けてくださる。「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜び（私達の救い）のゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。あなたがたは、罪人たちのこのような反抗（世界最大の不当な苦しみ）を忍ばれた方のこと（私達の罪の為に想像を絶する苦しみを忍ばれたイエス様のこと）を考えなさい（静かに十字架のイエス様の事を深く思いなさい）。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです」ヘブル12：2，3。元気を失い、疲れてしまう私達に勇気と力と慰めと励ましを与えて下さるのは』イエス様である。イエス様を信仰の目で見つめよう！
4. 神の前に静まり、真実な神の愛を心に注いで下さいと祈り求めよう。「愛を追い求めなさい」Iコリント14：1。「求めなさい（求め続けなさい）。そうすれば与えられます」マタイ7：7。「求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありましょう」ルカ11：13。神は、求める人に御聖霊を満たして下さり、聖霊なる神は、愛という実を私達の心と生活の中で結ばせてくださる。
5. 愛が無くなると、愛せない人を見る時、ますます、欠点や悪い所しか見えなくなる。そんな時、神の前に静まり、その人を、神の目で見ることが出来るように祈りたい。自分が愛せないその人も、神は愛しておられる。神が愛し、その人の為にも主が死なれたほど、神の目には、高価で尊い人と悟る心が与えられますように。イザヤ43：4。「キリストが代わりに死んでくださったほどの人を、あなたの食べ物のごことで、滅ぼさないでください」ローマ14：15
6. 神に祈る事は、最も大切である。と同時に、聖霊なる神は、神との交わりと同時に、互いの交わりも生み出される。愛が与えられるように祈り合える交わりも幸いである。